

# MJ Drive Navi

Vol.69 墨俣一夜城(大垣市墨俣歴史資料館)

30年続いた「平成」から新元号「令和」。  
新時代最初のドライブナビ!

今回は、大垣市にある「墨俣一夜城(大垣市墨俣歴史資料館)」を取材して来ました。永禄9年(1566年)、木下藤吉郎(のちの豊臣秀吉)が一夜にして築いたと伝えられている墨俣一夜城。藤吉郎が天下人となる

出発点として、全国にその名が知られています。史実については、太閤記や断片的な資料で概要を知る程度でしたが、昭和52年(1977年)に愛知県江南市の旧家より代々伝わる前野家古文書の中から、墨俣一夜城に関する貴重な資料が紹介され、墨俣一夜城の全貌が明らかになってきました。この資料に基づき、大垣市墨俣歴史資料館は墨俣築城と秀吉の歩んだ道を中心とした展示構成とし、学習や研修の場として広く活用されるようになっています。墨俣一夜城について間違っって覚えないように、簡潔ではありますが学んでいきましょう!

## 1F 墨俣の歴史(郷土展示室)



←館内に入ると記念メダル販売機があります。昔から変わってなかったのでも懐かしく感じました。



←昔の墨俣宿の模型。約4分半の音声で紹介してくれます。

## 3F 立身出世之巻(常設展示室)

貴重な展示品が  
たくさん展示!!



↑有名な種子島の鉄砲2丁展示。

こちらの絵画は  
↓「木下須股城を一夜に建築之図」。



## 2F 墨俣築城之巻(常設展示室)

城は一夜ではできません! 本当の一夜城とは、織田信長が美濃の斎藤氏を攻めるために、命令を受けた柴田勝家、佐久間重盛が築城を試みるが失敗に終わりました。その後、木下藤吉郎が7日で完成させると言上し、美濃勢の伏兵を撃退しながら材木を組み立てて完成させました。現在で言う「プレハブ」の拠点を建て、後にドラマチックに見せるために一夜で城を築いたと言う伝説が世に流れてしまいました。



↑前野家古文書をもとにまとめられた「武功夜話」にまつわるエピソードを紹介しています。



↑旧家吉田家で見つかった前野家文書「永禄墨俣記(レプリカ)」。

↓墨俣一夜城の縮尺250分の1模型。



墨俣一夜城のリアルな模型を発見!!

↓一夜城址より出土した兜。



## 4F 私の一夜城(墨俣ギャラリー)



↑著名名人が語る一夜城についての展示や爪楊枝で出来た一夜城の作品も展示してありました。

## 5F 絶景墨俣(展望室)



↑展望室でのおすすめ時期は「すのまた桜まつり」が開催されている時期です!

豊臣秀吉 出世の地 **墨俣一夜城**  
(大垣市墨俣歴史資料館)

〒503-0102 岐阜県大垣市墨俣町墨俣1742-1  
電話/0584-62-3322 FAX/0584-62-7092  
開館時間/9:00~17:00(入場受付は16:30まで)  
入場料/一般200円 団体(20人以上)150円 18歳未満無料\*  
\*18歳に達する日以後の最初の3月31日までの間を含む  
休館日/毎週月曜日(祝日の場合は翌日) 年末年始(12月29日~1月3日)  
祝日の翌日(その日が日曜日にある時は翌々日、その日が土曜日にある時は翌週の火曜日)



MJ編集部オリジナル  
「MJドライブナビ動画」配信中!!



QRコードを読み込んで  
チェックしてね!!